

令和 4 年度 学校評価 自己評価書（3 学期）

1 学校の重点目標

- 豊かな人間性と健やかな体を備えた生徒を育成する。
- 「確かな学力」を持ち、未来を切り拓く生徒を育成する。
- 信頼される開かれた学校教育を推進する。

2 課題と改善策

※ 職員の評価は 4 段階評価とする

重点課題と評価項目	職 員	評価結果と改善方策
1 人権教育の推進と豊かな心を育む道德教育の充実 (1) 計画に沿って、授業を実施している。 (2) 総合単元的な授業の展開に努めている。	3. 2 2. 7	○いのちの授業（がん教育）は、命の大切さだけではなく、生きることについて深く考えさせられるものだった。
2 発問を工夫し思考力・判断力・表現力を高める授業改善の工夫 (1) 基礎的・基本的な内容を明確にして、教材や板書を工夫している。 (2) 生徒や保護者の願いを具体化し、自ら学ぼうとする具体的な学習指導プランの作成に努めている。 (3) 「主体的・対話的で深い学び」を意識して、授業を展開している。	3. 3 3. 0 3. 2	○鹿児島学習定着度調査の分析を基に、補充学習や授業改善に取り組んでいく。 ○長期休業中の課題における、「質と量の問題」について、全職員で再検討する必要がある。
3 一人一人を大切にしたい指導や支援の工夫 (1) 様々な検査や調査を活用して、的確な実態把握と個別支援カードを活用した適切な個々の把握に努めている。 (2) 合理的配慮の提供に努め、特別支援教育の工夫を行っている。	3. 1 3. 1	○合理的配慮を要する生徒については、特別支援教育委員会の報告を基に、職員間で共通理解し、共通実践に努める。
4 教育相談を生かした積極的な生徒指導の充実 (1) 生徒指導部会（心の教育推進委員会）等で確認した共通理解事項を日常の指導に生かしている。 (2) 気になる生徒についての情報連携を積極的に行い、必要とする支援に努めている。 (3) 生徒への意図的な語りかけやカウンセリングを通して、個に応じた積極的な生徒指導の推進に努めている。	3. 3 3. 1 3. 1	○市 S C による生徒全員を対象にしたカウンセリングの実施が、昨年度よりも充実してきている。 ○生徒の気になる様子（体調不良やケガ等も含む）や欠席が続く場合には、早い段階で積極的に保護者と連携を図っていく必要がある。
5 夢を創り夢を持ち未来を切り拓くための系統的なキャリア教育の展開 (1) 啓発的な体験活動の推進をとおして、望ましい職業観・勤労観の推進を図っている。 (2) 地域や保護者、関係機関と連携したキャリア教育を推進している。 (3) 様々な活動において、目標を持たせ、活動の振り返りをさせることで、達成感や次の活動への意欲を高めさせるよう努めている。	2. 7 2. 7 3. 0	○今年度は、コロナ禍で制限はあったものの、上級学校説明会、職場体験学習、福祉体験学習・校内ハローワークの実施、鹿児島・日置地区専門高校フェスタへの参加など、様々な体験活動を実施することができた。

<p>6 健康でたくましい心と体の育成 (1) 生徒の表情や様子を観察・確認し、心身ともに健康な生徒の育成に努めている。</p>	3. 1	○生徒の自己肯定感を高めるための手立てや取組を考え、実践していくことが大切である。
<p>7 小中交流タイムの充実、学びを高める小中連携の推進 (1) 授業を通じた実践研修や小中連携による研修の充実に努めている。 (2) 小学校との児童生徒理解を深め、いじめの早期発見対応や不登校児童生徒への適切な対応に努めている。 (3) 様々な行動や活動をとおして小学校との連携を充実させ、推進委員会や各研究組織が計画的に運営され、職員一人一人が積極的な活動や研究を推進している。</p>	2. 7 2. 6 2. 7	○生徒の家庭環境等については、小学校と情報共有を図っていく。 ○小中の保健関係の情報交換については、今後も定期的に細やかに行っていく。 ○特別な配慮の必要な児童やその保護者の情報共有の時間を設定する必要がある。 ○新1年生に関する情報交換会を早めに計画し、多くの職員で情報を共有できるようにする。
<p>8 食育（弁当の日）と関連させた総合的な学習の時間の探究 (1) 「弁当の日」のねらいと総合的な学習の時間の目標（探究的な学習過程をとおした資質・能力の育成）とを意識した指導に努める。</p>	3. 0	○設定されている時間内に活動が終わるように、活動内容の精選・見直しが必要である。
<p>9 時間や成果を意識した業務改善の推進 (1) 校務の計画的な遂行に努めている。 (2) 超過勤務を少なくし、定時退庁などの勤務時間の適正化に努めている。</p>	3. 4 3. 6	○定時退庁日（毎週水曜日）の取組については、職員朝会での呼びかけを継続していく。 ○効率的に引継ぎを行えるように、ファイルや様式の改善などを進めていく。

3 学校運営協議会の認知度について

※ 保護者アンケート（2月10～17日実施）の結果より

質問項目と結果（R3年度との比較）	成果と今後の取組
<p>【質問項目】 あなたは、本校に学校運営協議会が設置されていることや活動の状況等を知っていますか。 【結果】 (R3年度) (R4年度)</p> <p>ア 知っている・・・・・・・・ 14% 33% イ ある程度知っている・・ 14% 27% ウ あまり知らない・・・・・ 65% 30% エ 知らない・・・・・・・・・・ 7% 10%</p>	<p>【成果】 学校行事や学校便り等を活用して、情報発信に努めたこともあり、保護者の認知度は上昇している。</p> <p>【今後の取組】 来年度も、学校行事や学校便り等を活用し、学校運営協議会の活動の様子等を積極的に発信していくように努める。</p>